

東西条地域センターだより

裏面も見
てね!!



第75号

令和7年8月25日発行

東西条地域センター TEL&FAX 082-421-2033

旅のあと 秋暑(しゅうしょ)つましく 過ごしけり (富美子)

季語の秋暑は立秋以後の暑さをいう。朝晩はさすがに秋らしい涼しさなのであるが、日中は夏と変わりなく暑い。むしろ夏のうちより苦しく感じるものである。俳句はこの季節の概念と現実の距りを心得て詠むのであって、普通の夏の暑さと違った内容のものが出来上がるわけである。(大泉書店「新編 歳時記」より)

残暑はまだまだ厳しいが、それでも月半ばを過ぎると朝夕涼気を感じます。この季節、夏場の疲れが表面化したり、暑さのために消化器系統が弱っていたり、とかく健康を害しやすい。健康管理に十分留意して頂きたい。「規則正しい生活様式」を守って秋分の日を迎えれば、「暑さ寒さも彼岸まで」のしのぎやすさを迎えら《大阪関西万博》れます。9月1日は関東大震災記念日、防災の日です。台風にも気を付けましょう。(折羽邦彦)



《第5次東広島市総合計画、後期基本計画・2025-2030》 ～未来に挑戦する 自然豊かな 国際学術研究都市 (住みたい、働きたい、学びたいまち 東広島)～

市では今年3月に、2030年を目標にまちづくりの方向を定めた「第5次総合計画、後期基本計画」を発表しました。高垣市長は「前期計画における成果と課題を踏まえつつ、本市の特徴である世界を舞台にした大学とグローバルな企業の立地を活かし、世界と直結した地方都市『ローカルハブ』としてのポテンシャルを最大限に引き出すことで、更なるまちの飛躍を目指すとともに、誰もが Well-being を感じて暮らせるまちを実現する」ため、市民の皆様と一緒に諸施策を着実に推進しますと発表しました。

8月4日、「第5次東広島市総合計画シンポジウム 第1弾」を、～東広島市の未来をみんなで考える～と題して基調講演と高校生によるプレゼンテーションが行われました。

基本計画の詳細(写真の冊子)はセンターでご覧くださいませ！(センター長・折羽邦彦)



《東西条地区敬老会実行委員会主催の敬老会式典は今年も中止となります》

毎年9月第2日曜日、地域センターにおいて敬老者のご苦勞に感謝し、ご長寿をお祝いする敬老会の式典をコロナ禍以前は開催していました。しかし近年は、コロナウイルス感染拡大防止や敬老者年齢・77歳以上の方が増加したため残念ながら式典を中止せざるを得ないことになりました。ここ数年は吉士実女性会を中心とした実行委員会が協議し、記念品を業者から皆様に直接お届けするようになっていきます。皆様が幾久しくご健勝であられますよう心よりお祈りいたします。

2年後にはお祝いの形も変更になる状況です。



《 市民一人、1 学習・1スポーツ・1ボランティア 》

《住民の皆様生涯学習の場を提供し、住民同士のふれあいの場が地域センターです》

地域センターからのお知らせ

- ① 主催講座「大人の色えんぴつ講座」は9月11日・25日に実施
色えんぴつで、はがきサイズの台紙に好きな果物の図案に色を付けていきます。
完成した作品は”東西条まつり”にて展示します。 (写真は昨年講座様子)



- ②「第29回 東西条まつり」は11月2日、10:00~16:00に実施
行事予定表では11/9を予定していましたが、当日は広島県知事選挙が決定。

※ 東西条まつり参加者募集中：出演・出品申込書は回覧又は地域センターで
申込締切りは9月5日です、作品搬入は10月から受付けます。

東西条まつりは、まちづくり交流の場としてすべての年代の方々に集まっていた
だき、学習意欲を高め、あらたな学びのきっかけづくりとなるよう、様々な学び
を一堂に集めたイベントです。 (写真は昨年の開会式・会長挨拶)



- ③ 東広島市生涯学習フェスティバルについて（開催時期変更）

今年度は11月ではなく、令和8年2月7日(土)、8日(日)に変更になりました。
フェスティバルは生涯学習の推進と市民の学びの輪の拡大を目的に開催されます。
変更時期理由は、①11月は各地域でイベントが多く、重複されて忙しい時季を外
したい ②市民の皆様が発表する場として、年度末が適切なのでは？という見解か
らです。 (写真は過去のパンフレット)



- ④「第1回 つなぐ本（本の譲渡会）」を7月27日(日)に実施

身近に本がなければ「読書はしなくてもいい」という思いになり、読書習慣がなくなってしまいま
す。多くの方が本を読める環境を整えたいという思いで譲渡交換会を行い、とても盛況で市民の皆さ
んの意識向上になったと思います。

- ⑤「広響メンバーによる夏の夕べのコンサート」を8月14日(木)開催

「バイオリンとピアノが奏でる音の贈り物」で、「地域の絆づくり」を
テーマにしたこの事業は「地域共生社会の大切さ」を再確認できました。
音楽の素晴らしさと本物の音色を堪能でき参加者の皆さまからも喜びの
声を多数いただき、とても素敵な時間を過ごすことができました。



《地域センター長のつぶやき》

※現在は価値観や社会の課題、地域の課題が多様化しているため、行政による
公的な援助では間に合わない時代です。「公助」に依存せず課題をわが事として
工夫して解決する「自助」、「互助」、「共助」が主体です。まず「自分たちで何
ができるか」を考えていきたい。そして「地域共生社会」の実現に向って、多
くの主体（関係団体）と行政の援助を受けながら課題解決に向かわなければな
りません。しかしその課題解決のワークショップを引っ張るリーダーが高齢化などで人材不足になっ
ているのも最大の課題でもあります。みんなが困っている人を支えていく社会を作っていきたいもの
です。そのベースは社会教育を通した「生きがいづくり」だと思います。(センター長：折羽邦彦)

